

植物とのふれあい・学び

発行：理学研究科・植物管理室 2019年2月

植物管理室では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

ががら山 登山道の整備



昨年末から、有志学生とともに、ががら山登山道の整備に着手しています。まずは、山中南遺跡のところから山頂までの道を整備しました。各自が、鎌や鋸をもって道幅を広げ、快適、かつ

安全に登れるように、枝はらいと草刈りを行いました。作業を行いながら、樹木の種類や植生についても、解説をしました。単なる作業だけではなく、環境教育に通じる活動となりました。



施設部保全の方の協力もありました。

ががら山の周囲には、多くの遺跡の他、水鳥や魚の住む山中池、牛のいる農場の牧草地など多様な里山環境が残されています。ががら山には、鏡山とつながる山城跡もあり、歴史と自然をもちあわせた非常に魅力のあるエリアです。山頂から、大学や西条の町を眺めることもできます。

フィリピン高校生の施設見学

西条農業高校のSSH連携校及び姉妹校であるルーラル高校の校長先生をはじめ引率の先生及び生徒4名が、12月18日に植物園に来られました。来園の目的は、植物園の運営におけるマネジメントを学びたいということで、当日は、園内の樹木園、温室、圃場、そして植物遺伝子施設のソテツを視察されました。その後、生態実験園を散策し、自然環境の保全と活用について解説をしました。生徒の皆さんは、非常に熱心に質問をされていました。



フィリピン大学附属ルーラル高校の生徒・先生と西条農業高校の先生

花壇のピオラ・パンジー

中央図書館、教育研究科、理学研究科などの花壇ではピオラとパンジーの花が咲いています。冬のキャンパスで、受験生のみなさんを応援しています。



11月27日には、中央図書館花壇にて恒例のチューリップ球根の植え付け作業を行いました。4月の入学式の頃には赤や黄色の花が咲いて、新入生を迎えます。



理学研究科前のピオラは、中学生が職場体験にて植えてくれました。

栽培実習・秋コース



H30年秋コースも無事に終了し、受講者のみなさんは、たくさんの野菜を収穫しました。今年は暖冬のため、野菜の傷みもあまりなく、年を越しても新鮮な野菜を収穫できました。年末には、収穫した野菜を使って留学生が作ってくれた中国の鍋を食べて、試食会としました。



この講座は、体験の場であり、癒しの場でもあります。食を通じて学ぶことも多いです。



保育園のサツマイモ掘り

ヒマワリ保育園のサツマイモ掘りが11月2日に行われました。紅はるか、紅あずま、鳴門金時の3種類のサツマイモを、みんなでがんばって掘りました。掘ったイモは、リュックに入れて、保育園まで持ち帰りました。秋晴れの中、子どもたちにとっては、とても楽しい体験となりました。



今年は、親子での参加です

学童保育のしめ縄作り

12月26日、学童保育の子どもたちが、しめ縄作りを体験しました。子どもたちの感性で独創的な作品になりました。しめ縄は、各自で持ちかえり、玄関に飾ります。あわせて、焼いも作りも行いました。



園内の花

キダチアロエ *Aloe arborescens*



ススキノキ科
観賞用、食用として栽培される。木の幹から枝が伸びているかのように茎から葉が広がる。暖地では戸外でも育ち、冬に赤橙色の花をつける。

園内の花

ヒメサザンカ *Camellia lutchuensis*



ツバキ科
冬に直径2cmほどの小さな花をたくさんつける。ツバキ属の中では最も香りが強い原種。香りのあるツバキを作出するための親として重視される。琉球列島の固有種。



【お問い合わせ先】

広島大学理学研究科
植物管理室

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp